



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月28日

上場会社名 株式会社モリタ

上場取引所 東証・大証第1部

コード番号 6455

<http://www.morita119.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中島 正博

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理サービス本部長 (氏名)中田 和彦 TEL(06)6756-0105

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	27,152	11.5	340	43.1	513	38.2	228	8.3
19年3月期第3四半期	24,360	△10.0	238	△79.4	371	△69.4	211	△72.6
19年3月期	41,592		2,096		2,376		1,336	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	5	38	—	—
19年3月期第3四半期	4	89	4	86
19年3月期	31	05	30	98

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	63,180		28,040		43.9	655	02
19年3月期第3四半期	59,791		29,132		48.3	677	04
19年3月期	59,165		29,969		50.2	695	94

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△1,717	△2,717	3,727	4,172
19年3月期第3四半期	267	△1,220	2,324	3,739
19年3月期	3,597	△1,038	△69	4,856

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	45,000	8.2	2,400	14.5	2,600	9.4	1,500	12.2	35	21

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 有
新規 2社(社名: (株)アルボ、エントー(株)) 除外 0社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年4月27日発表の業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループの業績は、売上高は前年同期より2,791百万円増加して27,152百万円（対前年同期比11.5%増）、営業利益は340百万円（対前年同期+102百万円）、経常利益は513百万円（対前年同期+141百万円）、四半期純利益は228百万円（対前年同期+17百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益は、消防ポンプ部門の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、上半期より下半期、特に第4四半期に偏る傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は63,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,014百万円増加致しました。これは主に、たな卸資産の増加5,268百万円、有形固定資産の増加2,337百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少1,823百万円、投資その他の資産の減少1,427百万円によるものです。負債合計は35,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,943百万円増加致しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加2,087百万円及び借入金の増加5,192百万円によるものです。純資産の部は28,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,929百万円減少致しました。これは主に、当第3四半期純利益228百万円に対し、剰余金の配当851百万円、その他有価証券評価差額金の減少905百万円等によるものです。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.2%から43.9%となりました。

また、当第3四半期のキャッシュ・フロー計算書の状況は次のとおりであります。

営業活動に使用されたキャッシュ・フローは1,717百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が587百万円、売上債権の減少が1,982百万円、及び仕入債務の増加1,983百万円であったことと、一方でたな卸資産の増加が5,200百万円、法人税等の支払が932百万円等であったことによるものであり、前年同期に比べ1,985百万円増加致しました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等で2,717百万円となり、前年同期に比べ1,496百万円増加致しました。

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは3,727百万円となりました。これは主に配当金の支払、自己株式の取得の一方で運転資金のため短期借入を行ったことによるものであり、前年同期に比べ1,402百万円増加致しました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、4,172百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年4月27日に発表致しました連結業績予想に修正はありません。

当社グループは収益重視経営の徹底、コスト削減及び新製品開発などによる営業シェアの向上、販売管理費の削減等により、企業価値の向上を目指してまいります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
前連結会計年度において非連結子会社であった(株)アルボ、エントー(株)は、重要性が増したことにより当連結会計年度より連結の範囲に含めております。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした簡便な方法によっております。
実地棚卸の省略 たな卸資産について実地棚卸を省略しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当第3四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参 考) 前連結会計年度末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	3,739	4,172	433		4,856
受取手形及び売掛金	9,134	10,998	1,863		12,822
たな卸資産	9,781	10,808	1,027		5,540
その他	1,542	1,321	△220		1,075
流動資産合計	24,198	27,301	3,103	12.8	24,294
II 固定資産					
有形固定資産	27,164	29,548	2,383		27,211
無形固定資産	163	260	96		161
投資その他の資産	8,264	6,070	△2,194		7,498
固定資産合計	35,593	35,879	285	0.8	34,871
資産合計	59,791	63,180	3,388	5.7	59,165
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	11,323	13,745	2,422		11,658
短期借入金	7,168	5,453	△1,714		2,288
その他	3,454	3,638	184		4,301
流動負債合計	21,945	22,838	892	4.1	18,248
II 固定負債					
長期借入金	2,556	7,050	4,494		5,024
退職給付引当金	630	547	△82		593
その他	5,527	4,702	△824		5,330
固定負債合計	8,713	12,301	3,587	41.2	10,947
負債合計	30,659	35,139	4,479	14.6	29,195
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	4,746	4,746	—		4,746
資本剰余金	4,361	4,365	4		4,365
利益剰余金	20,002	20,267	265		21,127
自己株式	△2,336	△2,497	△160		△2,321
株主資本合計	26,773	26,881	108	0.4	27,917
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	2,109	829	△1,280		1,734
繰延ヘッジ損益	△3	3	7		△4
土地再評価差額金	△4	△4	—		△4
為替換算調整勘定	△17	41	58		40
評価・換算差額等合計	2,083	869	△1,214	△58.3	1,765
III 少数株主持分	275	289	14	5.1	286
純資産合計	29,132	28,040	△1,091	△3.7	29,969
負債及び純資産合計	59,791	63,180	3,388	5.7	59,165

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前第3四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当第3四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前連結会計年度 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	24,360	27,152	2,791	11.5	41,592
II 売上原価	17,839	20,509	2,670	15.0	31,054
売上総利益	6,521	6,643	121	1.9	10,537
III 販売費及び一般管理費	6,283	6,302	18	0.3	8,441
営業利益	238	340	102	43.1	2,096
IV 営業外収益	280	373	93	33.3	472
1. 受取利息及び配当金	64	68	4		79
2. その他	215	304	88		393
V 営業外費用	146	201	54	36.8	192
1. 支払利息	82	122	39		112
2. その他	64	78	14		80
経常利益	371	513	141	38.2	2,376
VI 特別利益	142	160	18	12.7	564
VII 特別損失	106	86	△ 20	△19.2	440
税金等調整前 四半期(当期)純利益	407	587	180	44.3	2,500
法人税、住民税及び 事業税	195	352	156	80.0	1,152
少数株主利益	△0	6	6	—	11
四半期(当期)純利益	211	228	17	8.3	1,336

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	4,746	4,346	20,336	△1,610	27,818
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△456		△456
役員賞与			△85		△85
四半期純利益			211		211
自己株式の取得				△792	△792
自己株式の処分		14		66	80
持分法適用会社の増加による増減			△3		△3
連結子会社の減少による減少			△0		△0
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)					
当四半期の変動額合計(百万円)	—	14	△333	△726	△1,045
平成18年12月31日残高(百万円)	4,746	4,361	20,002	△2,336	26,773

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定		
平成18年3月31日残高(百万円)	2,845	—	△4	—	280	30,939
当四半期の変動額						
剰余金の配当						△456
役員賞与						△85
四半期純利益						211
自己株式の取得						△792
自己株式の処分						80
持分法適用会社の増加による増減						△3
連結子会社の減少による減少						△0
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)	△736	△3	—	△17	△4	△762
当四半期の変動額合計(百万円)	△736	△3	—	△17	△4	△1,807
平成18年12月31日残高(百万円)	2,109	△3	△4	△17	275	29,132

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(百万円)	4,746	4,365	21,127	△ 2,321	27,917
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△ 851		△ 851
四半期純利益			228		228
自己株式の取得				△ 177	△ 177
自己株式の処分		△ 0		1	1
連結子会社の増加による減少			△ 237		△ 237
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)					
当四半期の変動額合計(百万円)	—	△ 0	△ 859	△ 176	△ 1,036
平成19年12月31日残高(百万円)	4,746	4,365	20,267	△ 2,497	26,881

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定		
平成19年3月31日残高(百万円)	1,734	△ 4	△ 4	40	286	29,969
当四半期の変動額						
剰余金の配当						△ 851
四半期純利益						228
自己株式の取得						△ 177
自己株式の処分						1
連結子会社の増加による減少						△ 237
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△ 905	8	—	0	2	△ 892
当四半期の変動額合計(百万円)	△ 905	8	—	0	2	△ 1,929
平成19年12月31日残高(百万円)	829	3	△ 4	41	289	28,040

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	4,746	4,346	20,336	△ 1,610	27,818
連結会計年度中の変動額					
利益処分による利益配当			△ 240		△ 240
剰余金の配当			△ 216		△ 216
利益処分による役員賞与			△ 85		△ 85
当期純利益			1,336		1,336
自己株式の取得				△ 795	△ 795
自己株式の処分		18		84	102
持分法適用会社の増加による増減			△ 3		△ 3
連結子会社の減少による減少			△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	—	18	791	△ 711	99
平成19年3月31日残高(百万円)	4,746	4,365	21,127	△ 2,321	27,917

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定		
平成18年3月31日残高(百万円)	2,845	—	△ 4	—	280	30,939
連結会計年度中の変動額						
利益処分による利益配当						△ 240
剰余金の配当						△ 216
利益処分による役員賞与						△ 85
当期純利益						1,336
自己株式の取得						△ 795
自己株式の処分						102
持分法適用会社の増加による増減						△ 3
連結子会社の減少による減少						△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 1,111	△ 4	—	40	6	△ 1,069
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	△ 1,111	△ 4	—	40	6	△ 969
平成19年3月31日残高(百万円)	1,734	△ 4	△ 4	40	286	29,969

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	(単位：百万円)		
	前第3四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当第3四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前連結会計年度 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	407	587	2,500
減価償却費	675	648	890
受取利息及び受取配当金	△64	△68	△79
支払利息	82	122	112
売上債権の減少額	5,585	1,982	1,740
たな卸資産の増加額	△4,787	△5,200	△546
仕入債務の増加額	366	1,983	792
その他	△543	△793	△486
小計	1,721	△738	4,924
利息及び配当金の受取額	64	70	79
利息の支払額	△78	△116	△122
法人税等の支払額	△1,439	△932	△1,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	267	△1,717	3,597
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,027	△2,801	△1,107
有形固定資産の売却による収入	30	185	24
投資有価証券の取得による支出	△13	△87	△313
投資有価証券の売却による収入	34	225	647
その他	△243	△239	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,220	△2,717	△1,038
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	4,300	4,517	△100
長期借入れによる収入	2,000	2,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△2,806	△1,752	△3,818
社債の償還による支出	—	△12	—
自己株式の取得による支出	△711	△176	△692
配当金の支払額	△457	△849	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,324	3,727	△69
IV 現金及び現金同等物の増減額	1,372	△707	2,489
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,366	4,856	2,366
VI 新連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23	—
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,739	4,172	4,856

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期(平成20年3月期第3四半期)

(単位：百万円)

	防災関連事業	環境関連事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	17,344	9,807	27,152	—	27,152
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	143	413	(413)	—
計	17,614	9,951	27,565	(413)	27,152
営業費用	17,343	9,884	27,227	(415)	26,811
営業利益	271	67	338	2	340

(参考)前連結会計年度(平成19年3月期)

(単位：百万円)

	防災関連事業	環境関連事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	27,309	14,283	41,592	—	41,592
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	236	601	(601)	—
計	27,674	14,519	42,194	(601)	41,592
営業費用	26,144	13,952	40,096	(600)	39,496
営業利益	1,530	566	2,097	(1)	2,096

(注)1. 事業区分の方法

製品の市場における使用目的に応じて防災関連事業、環境関連事業にセグメンテーションしております。

2. 各事業の主要製品

防災関連事業…… 消防ポンプ車、消火器、消火設備、火報設備

環境関連事業…… 環境プラント・産業機械、プレス機械装置

衛生車、塵芥車他環境衛生関係車輛

〔所在地別セグメント情報〕

該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しました。